

個人投資家向け会社説明資料

株式会社 ミマキエンジニアリング

2022年3月22日



本日のアジェンダ

- ❖ 事業概要
- ❖ 市場の将来性
- ❖ 市場における当社の優位性
- ❖ 経営方針（Mimaki V10）及び成長戦略
- ❖ 株主還元

事業概要 (プロフィール)

設立	1975年 8月
資本金	4,357百万円
本社	長野県東御市滋野乙2182-3
代表者	代表取締役社長 池田 和明
従業員数	連結：1,931名 / 単体：777名



長野県東御市

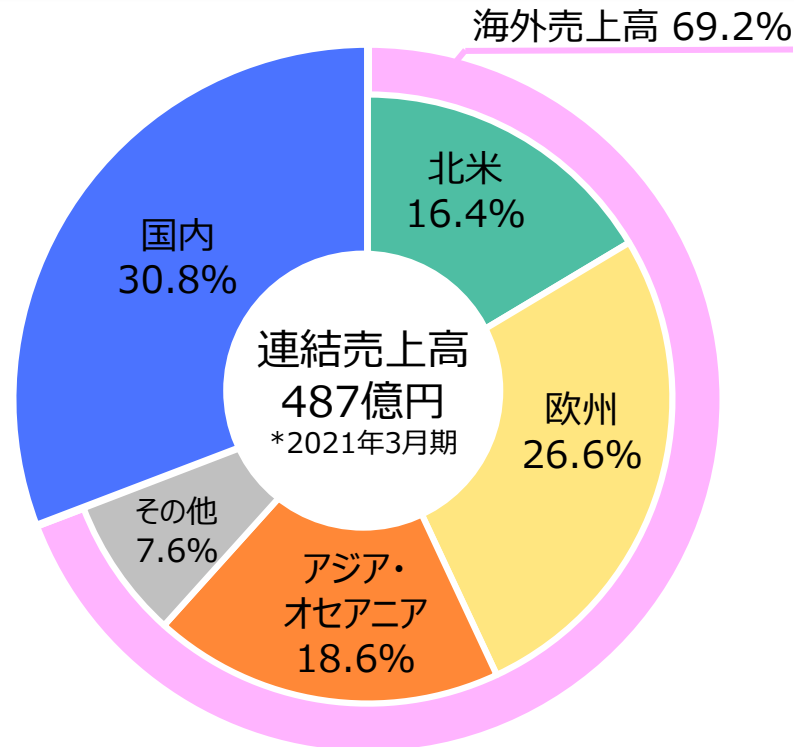
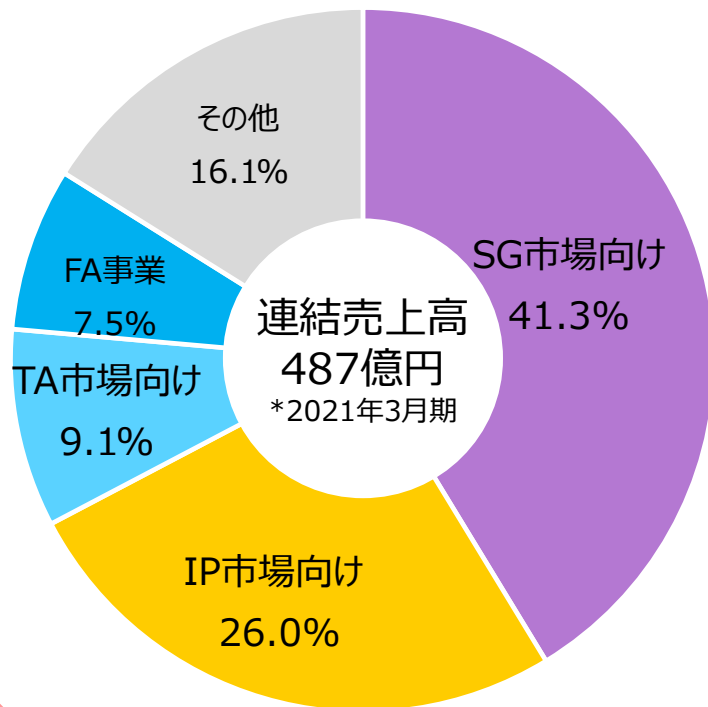


グループ会社	<ul style="list-style-type: none">◆ 産業用インクジェットプリンタ関連 (計20社)<ul style="list-style-type: none">● 販売関連： 13社* *販売・製造の重複社あり● 開発・製造関連： 7社*● プリントサービス関連： 2社◆ アルファデザイングループ (FA事業、計 6社)
--------	---

上場市場	東京証券取引所 市場第一部(4月よりプライム市場予定) / 証券コード：6638
------	--

発行済株式数	32,040,000株 (単元株=100株)
--------	------------------------

4つの販売市場でグローバルに事業展開



SG

サイン
グラフィックス
Sign Graphics

大型ポスター、カーラッピング、のぼり旗、表示板といった広告・看板等、街を彩るビジネスシーンで活躍している当社の主力製品群。

活用事例



主なプリント素材

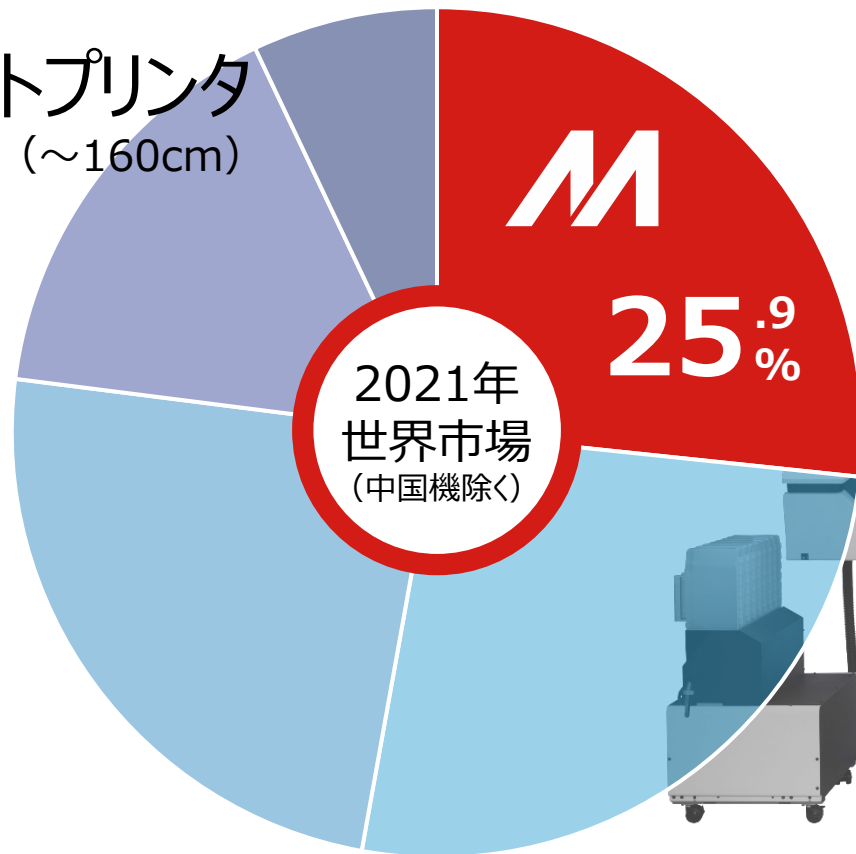
- ・塩ビシート
- ・バナーシート
- ・ウィンドウフィルムなど



サイングラフィック市場向け

大判インクジェットプリンタ

～64インチ (～160cm)



※調査会社データに基づく当社推定

IP

インダストリアル
プロダクツ

Industrial Products

自動車の計器パネルや家電類の操作パネル等の工業製品のほか、一般消費者向けのギフトやノベルティ、オーダーグッズ等の生産現場等で使用されている製品群。

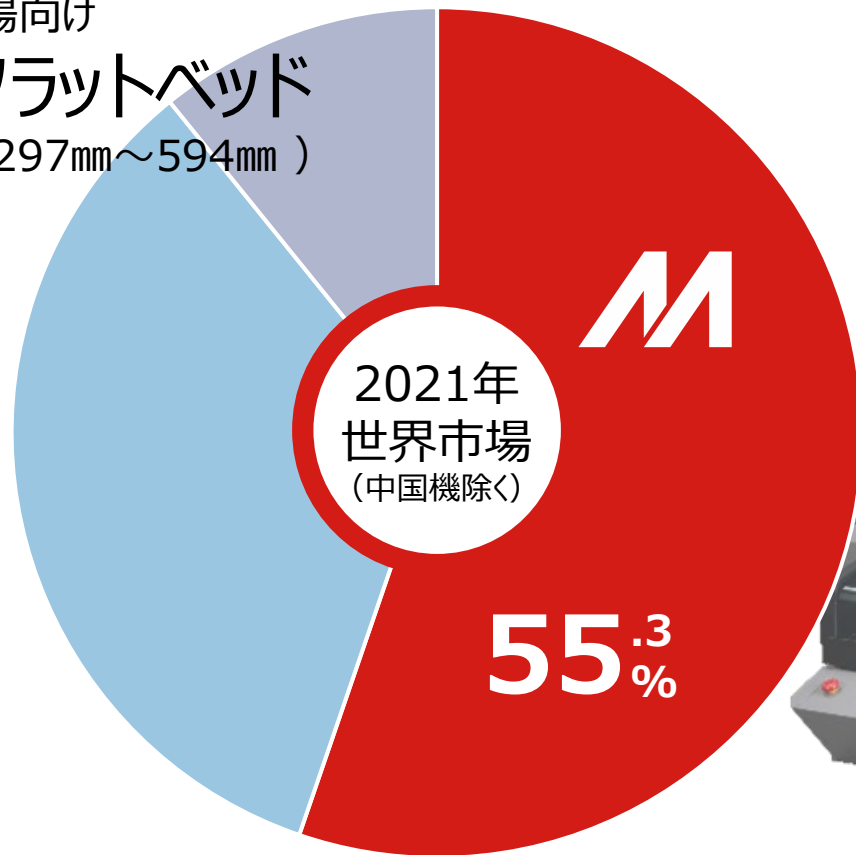
活用事例



主なプリント素材

- ・プラスチック
- ・アクリル
- ・ガラス
- ・金属
- ・木材など

インダストリアルプロダクツ市場向け
デスクトップUVフラットベッド
A3~A2 (420mm x 297mm~594mm)

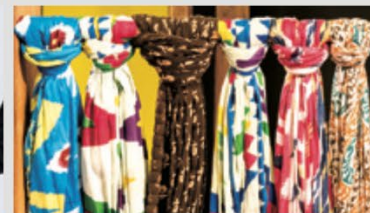


TA

テキスタイル・
アパレル

Textile & Apparel

裁断・縫製加工前の生地や既製服などファストファッション・スポーツウェア業界のほか、ファニチャー業界で拡大している製品群。



主なプリント素材

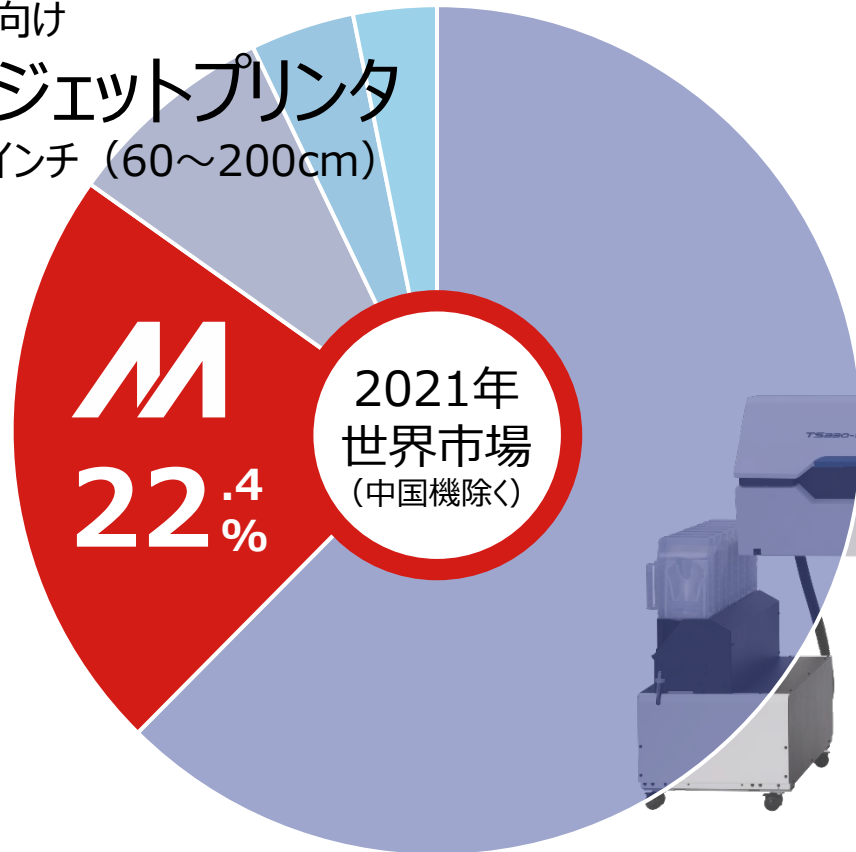
- ・ポリエステル
- ・レーヨン
- ・綿
- ・絹
- ・合成皮革など



テキスタイル&アパレル市場向け

昇華転写インクジェットプリンタ

24~78インチ（60~200cm）



2021年
世界市場
(中国機除く)

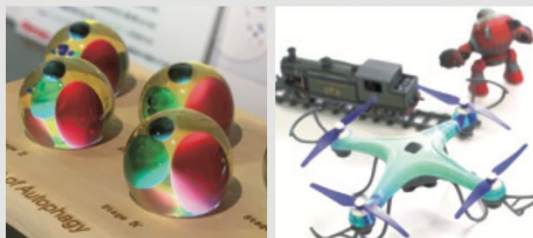
M
22.4%



3D 3Dプリンタ 3D Printer

1,000万色以上のフルカラー造形から、高さ1.8mまでの超大型造形まで3Dプリンタによりプロダクトデザインやフィギュア、立体看板で活用されている製品群。

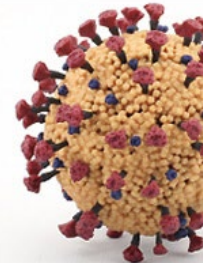
活用事例



東京工業大学博物館



研究・医療



建築・設計



試作・見本



FA

ファクトリー
オートメーション
Factory Automation

ベクター技術、メカトロ
ニクス技術をもとに5
つの事業を展開。



FA装置事業



基板実装装置事業



金属加工事業



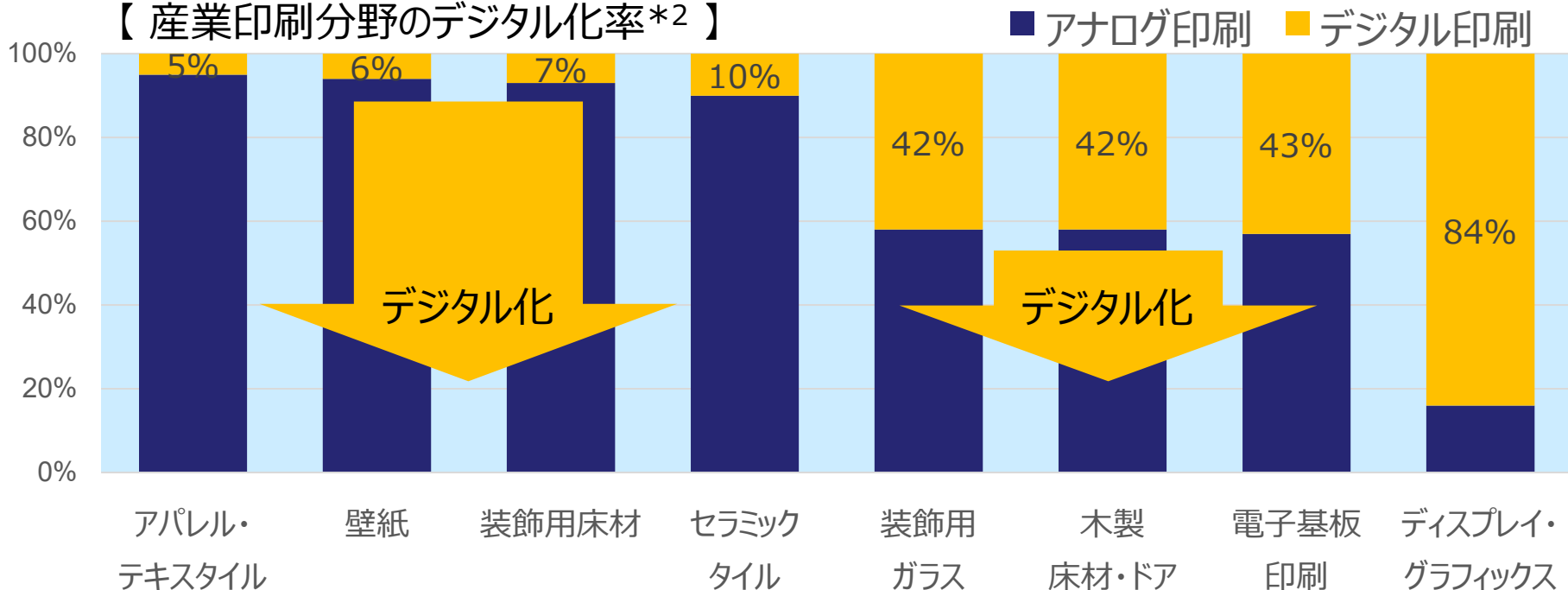
半導体製造装置事業

基板検査装置事業

産業印刷のデジタル化は途上
(デジタル印刷世界市場:2.4兆円*¹)

デジタル化の進展により
大幅な市場成長の可能性

【産業印刷分野のデジタル化率*²】



*¹ 2021年 *² 2019年 いずれも調査会社データに基づく当社推計₁₂

デジタル・オンデマンドプリントは必要ときに必要な分だけをプリントして生産できるシステムです。

版を使用しないインクジェット技術を用いることで、節水・低廃棄のプリントを行うことが可能です。

また、省スペースな設備でクリーンな作業環境が確保できることから、消費地に近い都市周辺で生産ができます。

さらに、消費地と生産地が繋がることで、物流にかかる時間とコストも削減できる特徴があります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

デジタル・オンデマンドプリント



必要ときに
必要な分だけ！

節水

低廃棄

短納期

省スペース



工場

倉庫

ヘッドテクノロジーに依存しないビジネス

- プリントヘッド（ヘッド）を選択できる強みを活かし、マーケットインで新製品開発/市場投入をおこなえる

ヘッドの自社開発

仕様が固定のため
ニーズが限られる
& 大規模な生産設備



ヘッドの外部調達

顧客のニーズに応じて
最適なヘッドを選択できる

+

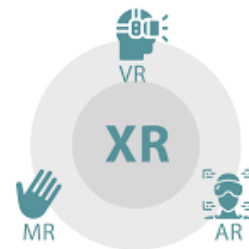
あらゆるヘッドの
制御技術に特化

プリントヘッド（インク吐出装置）



UV印刷の優位性を新市場へ展開

- 3Dプリントはフルカラー（1,000万色表現）の新時代へ。3Dソフトや周辺機器の充実と、AR/VRを活用した仮想空間ビジネスが急成長市場 = 色付きの3Dデータの入手が容易に。



UV印刷の優位性

1. 基材を選ばない
2. 環境に優しい
3. 少量多品種



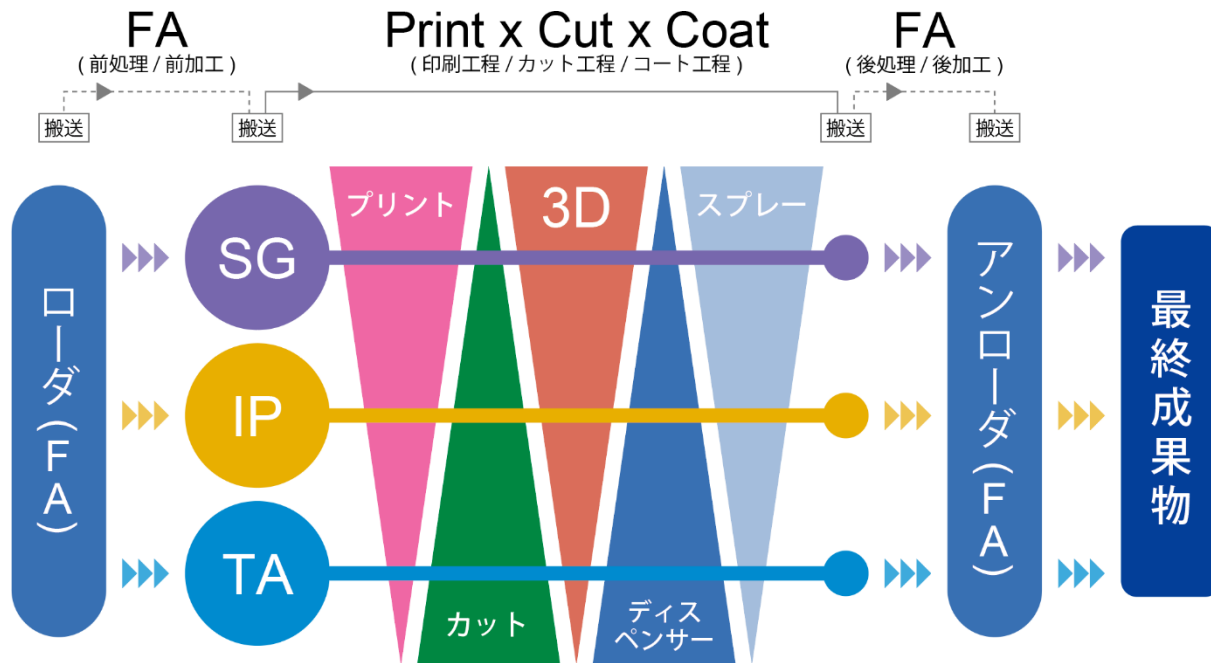
UV印刷関連特許多数保持

世界初*のホワイトインクUVプリンタ (UV印刷のパイオニア)

*UJF-605Cを発表した2004年3月時点、当社調べ

デジタルオンデマンド・プリントソリューションの提供

- FA事業を保有する優位性を最大活用し、SG、IP、TA市場におけるプリント工程の自動化を実現する、デジタルオンデマンド・プリントソリューションを提供する

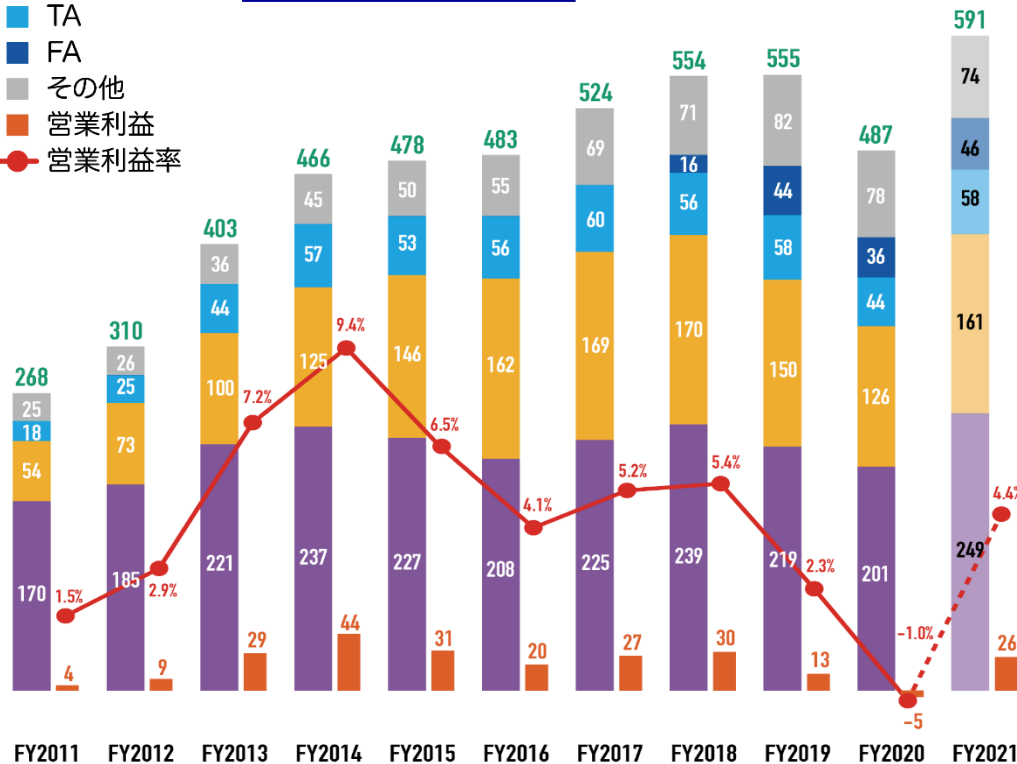


経営方針(Mimaki V10)

- SG
- IP
- TA
- FA
- その他
- 営業利益
- 営業利益率

連結業績推移

(金額:億円)



FY2021連結業績予想

(金額:千円)	売上高	構成比率	前期比増減
■ SG市場向け	24,996	42.2%	24.1%
■ IP市場向け	16,193	27.4%	27.8%
■ TA市場向け	5,858	9.9%	32.3%
■ F A 事業	4,615	7.8%	26.0%
■ その他	7,465	12.6%	△4.8%
合計	59,100	100.0%	21.3%

(金額:千円)	売上高	構成比率	前期比増減
製品本体	27,013	45.7%	37.9%
インク	20,414	34.5%	16.4%
保守部品	4,079	6.9%	6.3%
その他	7,591	12.8%	△2.2%
合計	59,100	100.0%	21.3%

FY2011 FY2012 FY2013 FY2014 FY2015 FY2016 FY2017 FY2018 FY2019 FY2020 FY2021

実績

予想

経営方針

売上高成長を追求するだけでなく、高い収益を継続的に生み出すとともに、財務基盤を強化して、持続可能な成長に向けた強靱な企業基盤を構築したうえで、2025年度までに営業利益率10%を達成する

- ① 収益性を重視し、2025年度までに営業利益率10%、経常利益率8%を達成する
- ② 2020～2025年度の売上高平均成長率(CAGR)は、10%を目安とする
- ③ 環境変化への対応力を確保するために、キャッシュ・コンバージョン・サイクルの改善を通じて財務基盤を強化する
- ④ 製品開発で Innovation を起こし、顧客にとって価値のあるソリューションを提供し続ける
- ⑤ Mimaki V10 の達成に向け、ミマキグループが一丸となって取り組む組織風土を創り上げる

SG市場

- 競争優位を確保しているUV硬化型インクを生かした製品やソリューションの投入と、販売活動の展開
- UVプリンタ特許技術の活用による競争優位性強化
- 新製品の投入により、エントリー領域でシェア拡大、高付加価値領域で収益確保

今期の成果と 今後の取組み

- コロナ禍からのサインージ市場回復の機会を的確に捉え、前期比24%増収の見込み*
- エントリー領域に投入したJV/UJV100-160シリーズの販売活動本格化と、さらなる販売拡大
- フラグシップモデル新製品JV/CJV330-160/130シリーズの市場投入と、顧客(サインージ印刷会社)のビジネスに貢献できる高品質・高生産性の訴求による販売拡大



JV330 Series

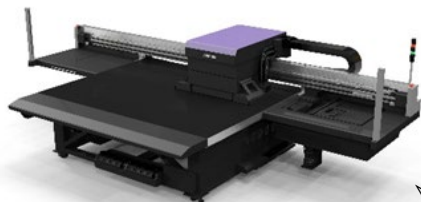


UJV100-160

IP市場

- 拡大するスマートファクトリーの流れを捉え、プリント/カット/コート工程の自動化による省人化・無人化を実現するDigital・Micro・Smart factory戦略を推進
- 新製品投入・販売によりフラットベッドUV市場でのシェアを更に拡大
- UVプリンタ特許技術の活用による競争優位性強化

今期の成果と 今後の取組み



JFX600-2513

- 工業製品、ノベルティ・グッズ等の需要回復により、前期比28%増収の見込み*
- 主力モデル新製品投入で、顧客ニーズに細かく対応したフル・ラインアップ化により、さらなるシェアの拡大
 - ・ 小型フラットベッドUJF-7151/6042/3042シリーズ
 - ・ 大型フラットベッドJFX600/550シリーズ
- 顧客に印刷工程自動化と高付加価値化を提供するDCF-605PU スプレーコートセットを投入



UJF-7151 plus II



デジタル コーティングマシン
DCF-605PU

TA市場

- コロナ禍による市場環境変化(店頭販売からEコマースへ、オンデマンド化による多品種少量生産へ)を捉えたソリューションの提供
- エントリーモデルとフラグシップモデルの新製品投入によるシェア拡大
- 高速機はTiger 1800B MkⅢでポジションを維持・拡大

今期の成果と 今後の取組み

- エントリーモデルTS100-1600の販売を立ち上げ、アパレル市場回復の機を捉え前期比32%増収見込み*
- フラグシップモデルTS330-1600を市場投入し、高生産性・低コスト印刷を訴求して販売を拡大
- Tiger 1800B MkⅢにより、高速・量産機市場でアナログ印刷からデジタル印刷への転換を加速



TS100-1600



TS330-1600

Tiger-1800B MkⅢ



3D事業（フルカラー3Dプリンタ）の成長戦略

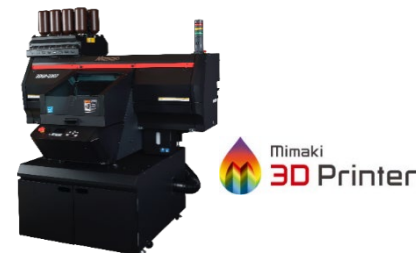
3Dプリンティング 事業

- 3DUJ-2207により「フルカラー3D」造形の市場成長を加速させ、3Dを事業の柱に育成
- 3Dによる造形を容易にするためのソリューションの提供
- 3Dプリンタ販売チャネルの拡大

今期の成果と 今後の取組み



- フルカラー3Dプリンタ3DUJ-2207の販売を開始、2018年に投入した上位機種3DUJ-553と併せてラインアップを強化
- 世界初*の1,000万色以上という付加価値を訴求してフルカラー3D造形市場を創出、市場成長を加速させ販売拡大を狙う
- 3Dデータのエラー修正と形状を自動で最適化するクラウドソフトウェアサービスの販売開始



*3DUJ-553を発表した2017年8月時点、当社調べ

3DUJ-2207

株主還元の方針

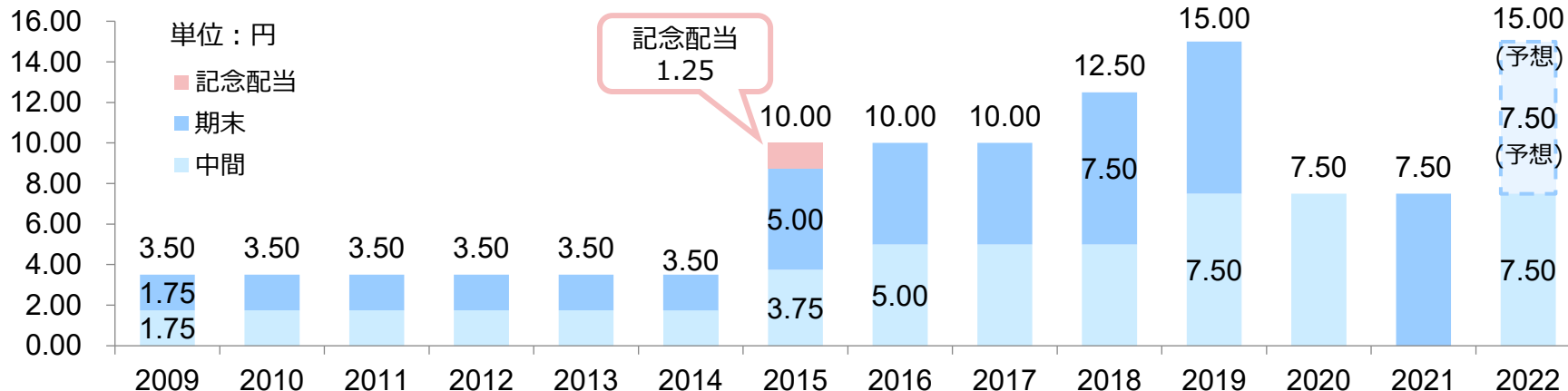
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

■ 2021年3月期 期末：7.5円に復配

2021年3月期中間期は無配としたものの、同下期の期間損益が黒字転換したこと、今後の事業見通し及び株主還元方針を総合的に勘案し、期末配当は7.5円に復配

■ 2022年3月期 中間：7.5円、 期末(予想)：7.5円

当期の事業見通し及び安定的・継続的な株主還元方針に基づき、年15.0円配当を予想



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものであります

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております（分割前の配当金は遡及修正して表示）

本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

I R 部

TEL (本社) 0268(80)0058

TEL (東京) 03(6362)4290

E-mail mimaki-ir@mimaki.com

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。